

地図でみる岡山市の健康状態

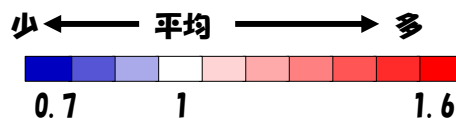
<基本健康診査結果から>

平成 18 年度基本健康診査受診者の生活習慣や検査結果をもとに、中学校区ごとに岡山市の状況と比較して地域の健康状況を分析しました。地域で健康状態に差があることが分かります。

<地図の見方>

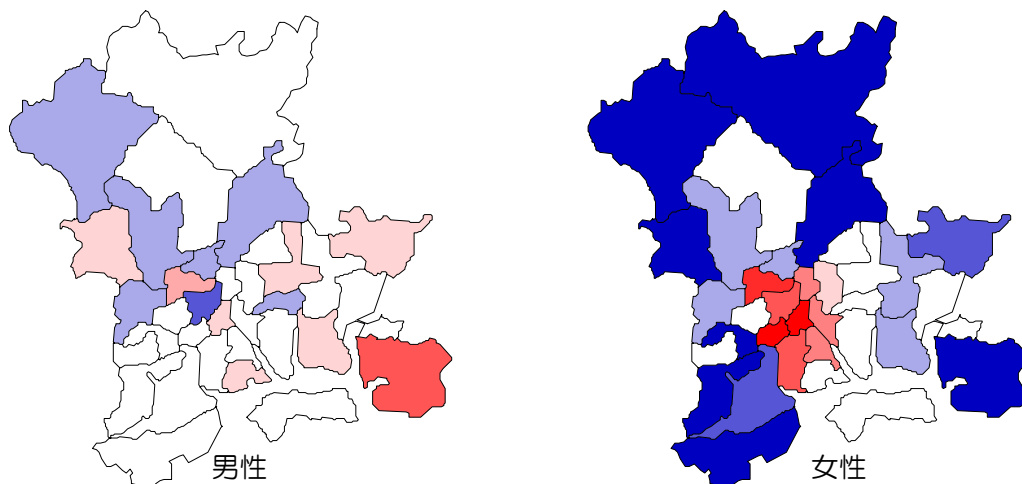
岡山市全体の平均と同じ状況を 1 とし（地図では白色）、岡山市全体より多い状況は 1 より数字が大きくなり（地図では赤色）、岡山市全体より少ない状況は 1 より数字が小さくなります（地図では青色）。

計算方法・次ページ参照



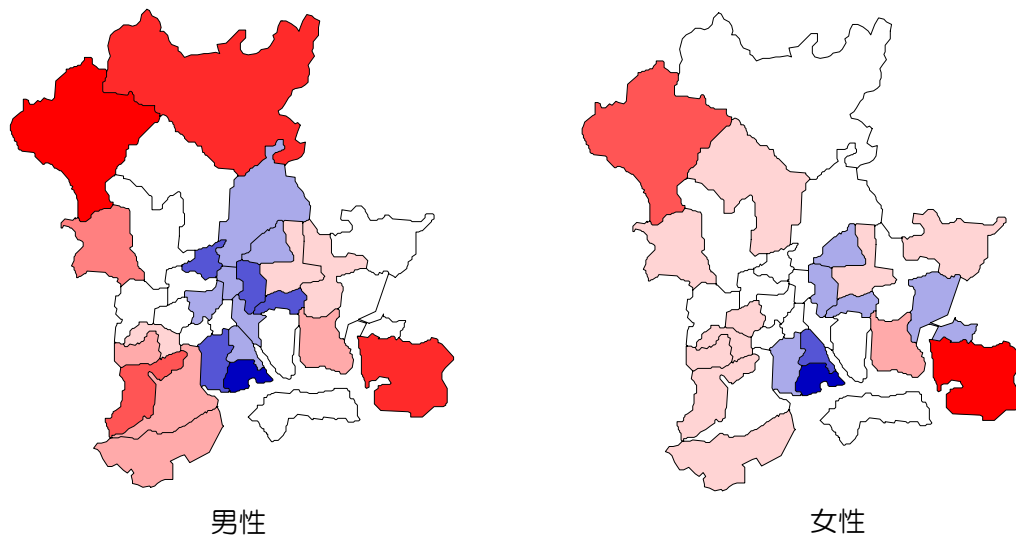
喫煙習慣あり（基本健康診査で「喫煙習慣あり」と問診で答えた者）

女性では市中心部で喫煙する人が多い。



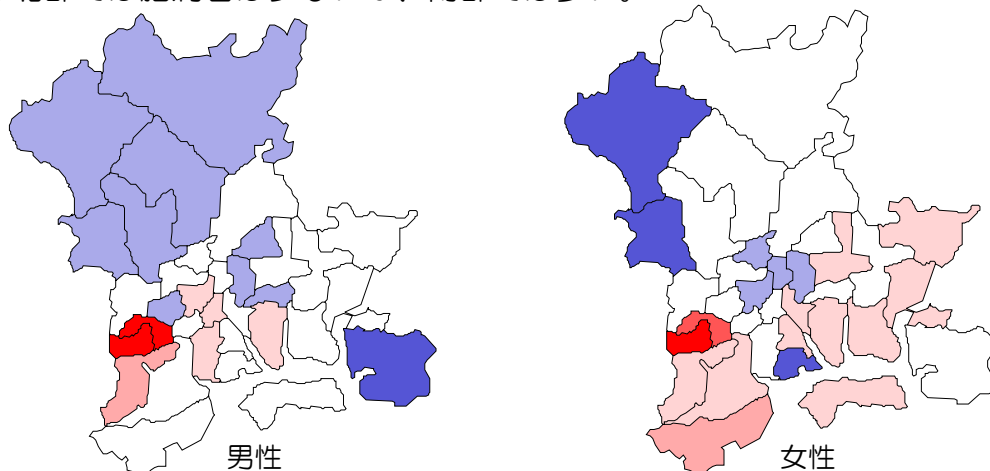
運動習慣なし（基本健康診査で「運動習慣なし」と問診で答えた者）

男性は市中心部で運動習慣ある者が多く、市周辺部で運動習慣のない者が多い。



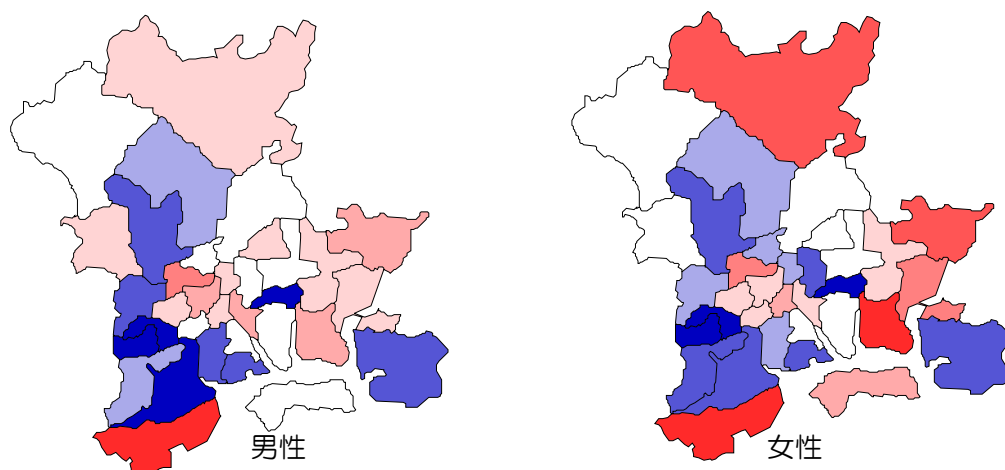
肥満（基本健康診査で「軽度肥満」または「肥満」と判定された者）

市の北部では肥満者は少ないが、南部では多い。



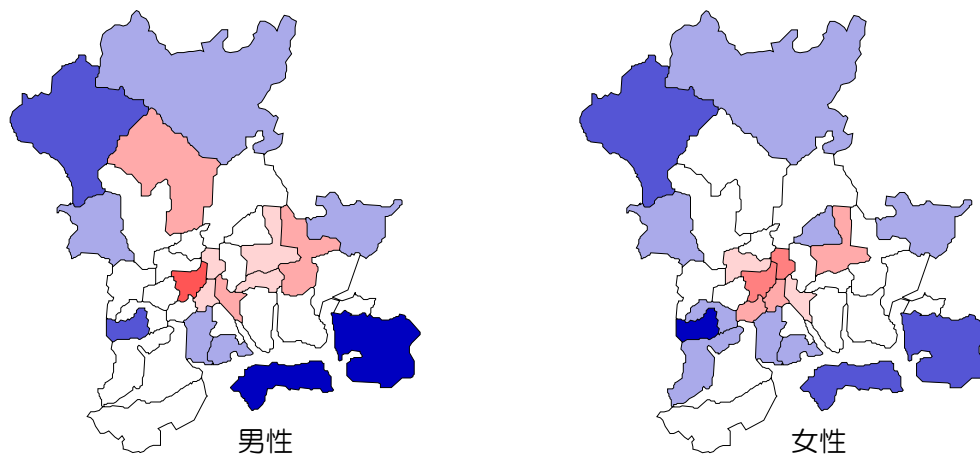
血圧高値（基本健康診査で「高血圧」要指導もしくは要医療と判定された者）

北地域や西地域では血圧の高い人は少なく、市中心部、西大寺地域、御津、瀬崎地域では血圧の高い人が多い。

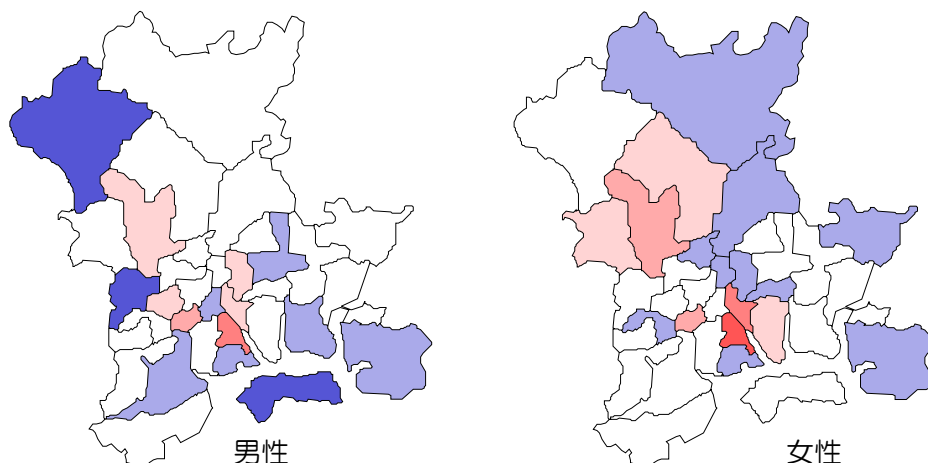


脂質異常（基本健康診査で「高脂血症」要指導もしくは要医療と判定された者）

市中心部に脂質異常の人が多。

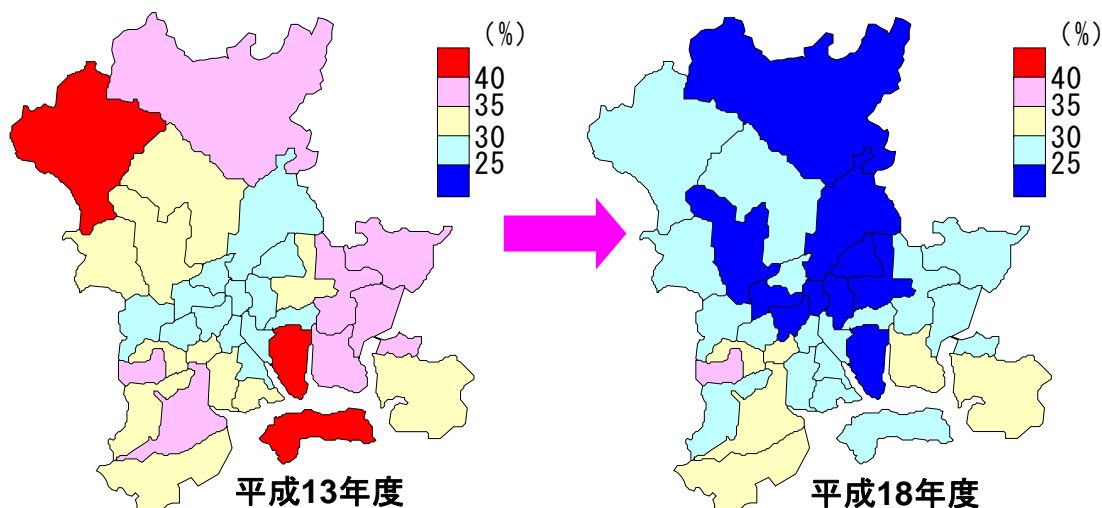


血糖高値（基本健康診査で「糖尿病」要指導もしくは要医療と判定された者）



<3歳児健康診査結果から> むし歯のある幼児の割合

5年間でむし歯のある幼児の割合は全体的に減少しました。地域によってその割合には差があることがわかります。



※ オッズ比を用いました。（年齢調整はマンテルハントツェル法を用いて行いました。）

	ある中学校区	岡山市全体
高血圧あり	A	B
高血圧なし	C	D
合計	A+C (=中学校区の全受診者)	B+D (=岡山市の全受診者)

オッズ比 = $\frac{A/C}{B/D}$ ← ある中学校区での比
← 岡山市全体での比

オッズ比 = 1 のとき、岡山市全体と同じ状況
オッズ比 > 1 のとき、岡山市全体より多い状況
オッズ比 < 1 のとき、岡山市全体より少ない状況

※ 基本健康診査について

40歳以上の岡山市民で、職場などでの健康診断を受ける機会の無い方を対象として実施していました。平成18年度受診者数 59810人（男性 18865人、女性 40945人）